

自己点検・自己点検評価基準項目チェックシート(平成28年度版)

※ 記入箇所は太枠の部分のみです。チェックする欄にも次の記号を入れて下さい。  
 ○=満たしている △=改善を要する ×=不十分  
 ※ 小項目(アイウ)ごとに記入願います。記入欄は適宜増やしてください。

基準	項目	担当	平成27年度(前年度)自己点検評価状況	前年度改善を要した事項 (平成27年度記入)	平成28年度 チェック欄	平成28年度 実施・改善状況	改善を要する事項 (平成28年度記入)
1	学習・教育到達目標の設定と公開	教務委員会 (専攻科委員会)					
1-1	学習・教育到達目標の設定と公開		(1) 学習・教育到達目標の設定と公開、伝統、資源、卒業生及び修了生の活躍分野等の考慮、社会の要求や学生の要望への配慮				
	ア 学習・教育到達目標		【教務委員会】 学習・教育到達目標の設定を行っている。 授業と学習・教育目標との対応表を作成した。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標の設定を行っている。 授業と学習・教育到達目標との対応表を作成し、一部改正した。	教育目標の達成度の確認を、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻でも実施する必要がある。	○  ○	【教務委員会】 学習・教育目標の設定を行っている。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標の設定し、授業との対応表に基づき授業を実施している。また、国際ビジネス学専攻、海事システム工学専攻においても教育目標の項目に対応する取得単位数を専攻科委員会射水キャンパス部会にて確認して指導する体制を整えて実施した。	
	イ 学習・教育到達目標の各項目と基準の設定およびその関係		【教務委員会】 各学科は、学習・教育到達目標の各項目に基づき、それぞれの特色に応じた基準を設け、適切に実施している。  【専攻科委員会】 各専攻は、学習・教育到達目標の各項目に基づき、それぞれの専攻の特色に応じた基準を設け、適切に実施している。		○  ○	【教務委員会】 学習・教育目標の各項目に基づき、各学科の特色に合わせた基準を設けている。  【専攻科委員会】 各専攻は、学習・教育到達目標の各項目に基づき、それぞれの専攻の特色に応じた基準を設け、適切に実施している。	
	ウ 過去4年間における学習・教育到達目標の改訂内容と改訂理由	【教務委員会】 学習・教育到達目標に変更はない。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標に変更はない。 授業と学習・教育到達目標との対応表を作成し、一部改正した。  【機械システム工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。  【電気制御システム工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。  【物質化学工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。 なお、学科会議で物質化学工学科のアドミッションポリシーの改正について検討した(1回のみ)。継続して検討する事になった。	物質化学工学科のアドミッションポリシー改正の検討を加速させる必要あり	○  ○  ○  △	【教務委員会】 学習・教育到達目標に変更はない。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。  【機械システム工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。 【電気制御システム工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を継続して実践した。今後、学習・教育到達目標等について検討することとした。 【物質化学工学科】 学習・教育到達目標変更に関する検討は行わなかった。懸案事項であるアドミッションポリシーの改正に係る検討を学科会議で繰り返し行い、現在、提案された6つの候補項目から3つを選定する段階にある。	高専イニシャティブ4.0推進により、アドミッションポリシーのみの改正で良いのかを検討してゆく必要あり。	

		<p>【電子情報工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。</p> <p>【国際ビジネス学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。 なお、引き続き、新任教員による本科、専攻科における会計学関連科目を充実させることができた。</p> <p>【商船学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。 なお、平成27年度は大型練習船実習時期移行の最終年度であり、計画通り実習生の6か月、3年生の1か月、4年生の5か月、そして2年生の1か月の実習を行った。科目の学年配当の変更により、教育課程表通りに履修が行われた。</p> <p>【機械工学科】 廃止</p> <p>【電気工学科】 廃止</p> <p>【一般教養科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。 なお、入試成績や新入生テスト、また出身中学・地域などにも留意し、一部の教科では学科ごとに異なる教科書を用い、適正な学習・教育目標をおいている。</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【電子情報工学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。</p> <p>【国際ビジネス学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を継続して実践した。</p> <p>【商船学科】 学習・教育到達目標に変更はない。従前の目標を、継続して実践した。また、教育内容については5校の商船系の高専が連携してモデルコアカリキュラム策定の検討を行った。</p> <p>【一般教養科】 平成28年度より、物理、化学の理論の理解をより深めるために2年次の後期に理科実験を行っている。</p>	
エ	<p>社会の要求や学生の要望を考慮するためのシステムの存在と運用実績</p>	<p>【教務委員会】 学生による授業評価アンケート結果を通して、学生の要求・要望等の把握を行っている。また、年に2回、運営諮問会議において、外部委員の意見を聞いている。カリキュラムWGを開催し、卒業研究単位などを見直した。</p> <p>(本郷キャンパス教務委員会) 学生と校長等との懇談会を実施し、学生の意見・要望等の把握を行っている</p> <p>(射水キャンパス教務委員会) 特段なし</p> <p>【機械システム工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p>【物質化学工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p>【電子情報工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【教務委員会】 学生による授業評価アンケート結果を通して、学生の要求・要望等の把握を行っている。前後期の2回、学生による授業評価アンケートを実施している。アンケートの全体的な集計結果に基づき、FD委員会や教務委員会で授業改善に向けた意見交換を行い、各個別データについては所属学科長を通じ教員へフィードバックし、学科内で改善点について話し合いを行った。</p> <p>(本郷キャンパス教務委員会) 学生と校長等との懇談会を実施し、学生の意見・要望等の把握を行っている</p> <p>(射水キャンパス教務委員会) 学生と校長等との懇談会を実施し、学生の意見・要望等の把握を行っている。</p> <p>【機械システム工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p>【物質化学工学科】 今年度も学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを継続して実施した。求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りも同様に行った。</p> <p>【電子情報工学科】 今年度も学生の要望等を聞くために授業評価アンケートを実施するとともに学科独自でweb形式のアンケートを実施し授業改善に役立てた。</p>	

	<p><b>【国際ビジネス学科】</b> 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p><b>【商船学科】</b> 学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。 なお、海事人材育成プロジェクトの一環として、海事系五高専合同で海事教育セミナー(GI-NET)を開催した。さらに、富山高専・海事教育セミナーを実施し、産学協働による新しい海事教育を試みた。また、「英語力育成」、「教材開発」、「電子書籍化」事業は継続して実施した。</p> <p>[機械工学科] 廃止</p> <p><b>【電気工学科】</b> 廃止</p> <p><b>【一般教養科】</b> 学生の要望等を聞くために、授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。さらにそれらをシラバスに反映し、授業改善を行っている。</p>		○  ○  ○	<p><b>【国際ビジネス学科】</b> 引き続き、学生の要望等を聞くために授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。また、求人や共同研究、技術振興会などを通じて交流のある企業から本校に対する要望などについて聞き取りを行った。</p> <p><b>【商船学科】</b> 海事人材育成プロジェクトの一環として、「英語力育成」、「教材開発」、「電子書籍化」事業を実施した。プロジェクトが完了するため、新しいプロジェクト予算の確保に努め継続実施の活動を行った。 また、身体的理由により、長期大型船実習が困難になった学生については、乗船実習の代替え措置により卒業出来る制度に改善した。</p> <p><b>【一般教養科】</b> 学生の要望等を聞くために、授業評価アンケートや授業点検アンケートを実施した。さらにそれらをシラバスに反映し、授業改善を行っている。</p>	
オ 学習・教育到達目標の水準の設定に関する説明	<p><b>【教務委員会】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、入学時のオリエンテーションにおいて、学生に、十分説明している。 オリエンテーションでは、授業科目ごとにシラバスを配布して説明を行っている。</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、入学時のオリエンテーションにおいて、学生に、十分説明している。 オリエンテーションでは、授業科目ごとにシラバスを配布して説明を行っている。</p> <p><b>【電気制御システム工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【物質化学工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【電子情報工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【国際ビジネス学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p>		○  ○  ○  ○  ○	<p><b>【教務委員会】</b> 学生に対し、入学時オリエンテーションで説明を行っている。</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> 入学時のオリエンテーションにおいて、学習・教育到達目標の水準の設定については、学生に十分説明している。 各授業科目の開始時に行うオリエンテーションでは、シラバスを配布して説明を行っている。</p> <p><b>【電気制御システム工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【物質化学工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。これ以外でも、折にふれ授業内でシラバスを確認するように学生に学生を促している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【電子情報工学科】</b> 学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p> <p><b>【国際ビジネス学科】</b> 引き続き、学習・教育到達目標の水準の設定については、授業開始時に学生にシラバスを配布し、学生に、十分説明している。また、授業の目標、計画、内容、評価の仕組みも説明している。</p>	



		<p>【商船学科】 伝統、建学の精神、理念などを踏まえ、学習・教育到達目標の設定を継続実践した。 なお、大型船による短期実習が導入されたこともあり、座学における学習のモチベーションの向上を図った。また、サバイバル実習など、商船学科固有の行事を通して学生のシーマンシップ意識の向上に努めた</p> <p>【機械工学科】 廃止</p> <p>【電気工学科】 廃止</p> <p>【一般教養科】 伝統、建学の精神、理念などを踏まえ、学習・教育到達目標の設定を継続実践した。同じ学年であっても、学科によって伝統や建学の理念が異なるため、それぞれの学科の特色に合わせて学習・教育到達目標の設定を行い、教科書や参考書、担当教員など選んでいる。</p>		○	<p>【商船学科】 昨年同様に伝統、建学の精神、理念などを踏まえ、学習・教育到達目標の設定を継続実践した。また、商船学科学生を一同に集め商船学科集会を開催し、商船学科固有の教育方針、シーマンシップについての意識の向上を図った。</p> <p>【一般教養科】 伝統、建学の精神、理念などを踏まえ、学習・教育到達目標の設定を継続実践した。同じ学年であっても、学科によって伝統や建学の理念が異なるため、それぞれの学科の特色に合わせて学習・教育到達目標の設定を行い、教科書や参考書、担当教員など選んでいる。</p>	
キ	学習・教育到達目標におけるカリキュラムの人的、設備的資源の考慮	<p>【教務委員会】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。 教員については、博士号所有の専任教員、並びに企業を始め他機関での勤務経験者を配置し、創造的かつ実践的な技術者・実務者の育成を行っている。また、新教育課程に必要な設備整備を順次進めている。</p> <p>【専攻科委員会】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。 なお、射水キャンパスでは、学生支援の強化のため、各専攻に専攻担当を設けた。</p> <p>【機械システム工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。 なお、制御系教員の適任者を採用すべく方策が検討された。その結果、1名の採用があった。学科会議において、新カリキュラムの内容や使用設備について、各教科担当者からの意見のとりまとめがはじめられた。また学生実験の充実を図るため、共通実験室の改修工事が行われた。</p> <p>【電気制御システム工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。なお、学科会議において授業科目の内容と設備、担当者などについて検討した。また、校長裁量経費により、ものづくり基礎工学実験で使用する教育実験設備を整備した。</p> <p>【物質化学工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。 なお、1年生のものづくり基礎工学実験において、学生指導の充実を図るため、前年度までの教員3人体制から4人体制へ変更した。オムニバス形式で開講している5年生の先端化学において、担当教員の人数を5人から3人に変更することで授業内容の充実化を図った。また、オムニバス形式で行われている1年生の技術者倫理入門において、平成28年度から専属教員1名を配置する事にした。</p>		○  ○  ○  △	<p>【教務委員会】 博士号所有の専任教員及び企業を始め他機関での勤務経験者を配置し、創造的かつ実践的な技術者・実務者の育成を行っている。また、新教育課程に必要な設備整備を順次進めている。</p> <p>【専攻科委員会】 全専攻に専攻担当を設け、人的資源、設備的資源に関し継続的に考慮実施した。国際ビジネス学科の教員異動に伴う教員2名の補充により、国際ビジネス学専攻でH29年度から実施される新科目の開講手続きを行った。</p> <p>【機械システム工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。また、学科会議において授業科目の内容と設備、担当者などについて検討した。なお、後援会からの寄附金により、共通実験室の環境整備を行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。なお、学科会議において授業科目の内容と設備、担当者などについて検討した。また、学科共通経費等により、学生実験等で使用する教育実験設備を整備した。さらに、学生数増加に伴い、教室の照明、ホワイトボードの整備等を行った。昨年度までオムニバス形式で実施していた1年生の技術者倫理入門に対して、学科で対応するため、専属教員を配置した。</p> <p>【物質化学工学科】 人的資源、設備的資源ともに継続実施した。 1年物質化学基礎実験での担当教員4人体制の確立と5年先端化学における担当教員のコマ数増加による授業内容の深遠化を継続した。また、昨年度末の計画通りオムニバス形式で行われている1年生の技術者倫理入門において、専属教員による講義を実現した。更に物理化学実験および化学工学実験の充実を図るために化学天秤（4台）の更新および蒸留水製造装置のメンテナンスを行った。</p>	学生実験実施に係る機器類の順次更新を進めて行く必要がある（生物化学実験室の化学天秤、その他）

	<p>【電子情報工学科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。 なお、共通ゼミ室を，プレゼンや研究会を行える施設として使用できるように整備を行った。</p> <p>【国際ビジネス学科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。 なお、企業会計の分野で学位を有する教員を採用したが，今年度はこの教員の担当科目を本科，専攻科ともに拡充して両科における経営学分野のさらなる充実を図った。</p> <p>【商船学科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。 なお、海技士免状と博士の学位の両方を取得している人の採用に努力している。また、8月に船舶職員養成施設認証のため、国土交通省の立ち入り検査を受審した。 海技免状を有する教員の免許更新やECDIS講習に教員を派遣した。</p> <p>【機械工学科】 廃止</p> <p>【電気工学科】 廃止</p> <p>【一般教養科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。</p> <p>[射水キャンパス]</p> <p>退職者・転職者に伴い、来年度に向けて体育と英語担当の教員を，それぞれ1名ずつ採用した。また、人事交流により，1年間，英語科の教員が福井工業高専へ異動したため、非常勤講師を手当した。</p>		○	<p>【電子情報工学科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。 なお、共通ゼミ室を，プレゼンや研究会を行える施設として使用できるように整備を行った。従来オムニバス形式で行われていた1年生の技術者倫理入門において，電子情報工学科教員による授業を実現した。1年ものづくり実験については，工場と連携した実験とし，学科が対象とする，ものづくりと電気電子情報分野を網羅する内容に改善した。</p> <p>【国際ビジネス学科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。今年度は，教員異動に伴い，新たに商学，経済学分野を担当できる博士号取得者を1名ずつ補充した。また，特別教室（語学教室）にプロジェクターを2台設置して，パワーポイントを使用した第二外国語の授業をできるようにした。</p> <p>【商船学科】 昨年同様に人的資源，設備的資源ともに継続実施した。また、STCW条約に対応するための最新の実習・教育が行われるよう、ECDIS講習や消防・救命講習などの講習会に教員を派遣し研修を行った。引き続き、海技士免状と博士の学位のいずれかを取得している人の採用に努力する。</p> <p>【一般教養科】 人的資源，設備的資源ともに継続実施した。</p> <p>[射水キャンパス]</p> <p>退職者・転職者に伴い、来年度に向けて体育と英語担当の教員を，それぞれ1名ずつ採用した。</p>	
ク	<p>学習・教育到達目標における当該カリキュラムの歴史と構成，特徴・特色の考慮</p> <p>【教務委員会】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。</p> <p>【専攻科委員会】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。</p> <p>【機械システム工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。 なお、新学科のカリキュラムが本格的に専門科目に入ってきたため，学習・教育到達目標を達成すべく，各授業の詳細な内容，開講時期，学生の理解度などについて学科会議で意見交換を行った。また，カリキュラムの充実策について検討を行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。 なお，1年生，2年生と3年生に対してHRなどを使い，学科の学習・教育到達目標と学習内容，そして，卒業後の進路を説明した。また，3年生に対しては履修科目のつながり(系統図)と4年次の学習内容について説明した。</p>		○	<p>【教務委員会】 新教育課程が完成年度を迎えたことから，点検し，改定を行っている。</p> <p>【専攻科委員会】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。</p> <p>【機械システム工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。</p> <p>【電気制御システム工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して，点検・改定を行っている。 なお，1～3年生に対してHRなどを使い，学科の学習・教育到達目標と学習内容，卒業後の進路を説明した。また，3年生に対しては履修科目のつながり(系統図)と4年次の学習内容，進路等について説明した。</p>	

	<p>【物質化学工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。 なお、1年生のものづくり基礎工学実験を平成28年度からは「物質化学基礎実験」と改名し、開講時期も前記と後期に分けて実施することで効率的に基礎的化学実験教育が実施出来る体制を整えた。</p> <p>【電子情報工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。時に、専攻科進学希望者の研究室配属を優先させ、早期に卒業研究を開始できるよう配慮した。</p> <p>【国際ビジネス学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。 2年前、国際流通学科から新たに国際ビジネス学科、並びに国際ビジネス学専攻へと改変した。新学科、新専攻科において、特別研究を担当できる教員が少ないという問題がある。今年度、特別研究の担当資格を有する教員を1名採用できたが、まだまだ足りない。</p> <p>【商船学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。 なお、商船学科のカリキュラムは、第一種船員養成施設の規範をみたすべく、文部科学省と国土交通省との両省の規則に支配される。本年度8月、養成施設立ち入り検査を受審し、第一種船員養成施設の認証を受けた。</p> <p>【機械工学科】 廃止</p> <p>【電気工学科】 廃止</p> <p>【一般教養科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。 なお、本校に設置された6学科では、それぞれの特性に応じて、輩出する人材像が異なる。そこで、本教養科では、教育目標や教育内容、進度、難易度を考慮し、教育に工夫を凝らしている。</p>	<p>研究業績の蓄積，あるいは，学位取得を奨励していきたい。</p>	<p>△</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【物質化学工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。現在、5年の科目であるCADを、当該学科のニーズにそった授業内容への変更とそれに伴う科目名の変更を進めている。また、平成31年度から名称変更が決まっている4年機器分析実験の内容と担当教員選定の作業に取りかかった。</p> <p>【電子情報工学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。時に、専攻科進学希望者の研究室配属を優先させ、早期に卒業研究を開始することで、本科生の学会発表が活発となっている。また、イノベーションセンターと連携して、4年生を対象に、富山県情報産業協会主催のとやまITフェアに参加することで、県内の情報産業の取り組みを学ぶ機会を作っている。さらに、1～3年に対し、学習内容、卒業後の進路を説明した。</p> <p>【国際ビジネス学科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。3年前に国際流通学科から新たに国際ビジネス学科、並びに、国際ビジネス学専攻へと改変した結果、新専攻科において特別研究を担当できる教員が偏った。今年度は、教員異動に伴い特別研究の担当資格を有する教員を2名採用できた。今後も改善を図る。</p> <p>【商船学科】 昨年同様に学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。また、カリキュラムについては5校の商船系の高専が連携してモデルコアカリキュラムを策定した。</p> <p>【一般教養科】 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。なお、本校に設置された6学科では、それぞれの特性に応じて、輩出する人材像が異なる。そこで、本教養科では、教育目標や教育内容、進度、難易度を考慮し、教育に工夫を凝らしている。</p>	<p>CADの名称変更と講義内容の変更、および機器分析実験開講に向けての使用機器と担当教員の人選を確実に進める必要あり。</p> <p>研究業績の蓄積，あるいは，学位取得，さらには専攻科の専攻の改編等を通じて，改善を継続していきたい。</p>
<p>ケ 学習・教育到達目標における卒業生の活躍分野の考慮</p>	<p>【教務委員会】 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。</p> <p>【専攻科委員会】 修了生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、1年生、2年生、3年生、4年生に対して、HRなどの時間を利用して授業計画、卒業後の進路などについて説明した。</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【教務委員会】 今までの卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育目標の設定を行った。</p> <p>【専攻科委員会】 修了生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。</p> <p>【電気制御システム工学科】 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、1年生、2年生、3年生、4年生に対して、HRなどの時間を利用して授業計画、卒業後の進路などについて説明した。</p>	

	<p><b>【物質化学工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、1年生、2年生、3年生、4年生に対して、HRなどの時間を利用して授業計画、卒業後の進路などについて説明した。</p> <p><b>【電子情報工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。さらに、卒業生を招聘して企業ガイダンスを頻繁に行った。</p> <p><b>【国際ビジネス学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。本学科の卒業生の幅広い進路は、教員が多岐にわたる専門分野を有することに一因がある。この点は本学科の強みとして自覚し、学生の進路指導を充実させたい。</p> <p><b>【商船学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、特に4年時に実施している企業インターンシップにおいて、参加学生の動機付けと、企業説明の場を積極的に設けた。また、卒業生を招聘し、彼らの実体験を2年生、3年生、4年生に対し話してもらい場を設けることにより、学生の学習意欲の向上に努めた。</p> <p><b>【機械システム工学科】</b> 卒業生による産学連携に関する特別講演を実施し、実践的な教育と学生の勉強意欲の向上に努めた。<b>【機械システム工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、卒業生による産学連携に関する特別講演を実施し、実践的な教育と学生の勉強意欲の向上に努めた。</p> <p><b>【一般教養科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、6学科の特色に合わせ、その活躍分野に応じた教材、シラバスを用意し、指導している。</p>		○	<p><b>【物質化学工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。 なお、1～4年生に対して、HRなどの時間を利用して授業計画、卒業後の進路などについて教員および5年生による説明を行った。</p> <p><b>【電子情報工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。さらに、卒業生を招聘して企業ガイダンスを頻繁に行った。</p> <p><b>【国際ビジネス学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。たとえば、卒業生を招聘して就職・進学ガイダンスを在校生に対して行なった。本学科の卒業生の幅広い進路は、教員が多岐にわたる専門分野を有することに一因がある。この点は本学科の強みとして自覚し、学生の進路指導を充実させたい。</p> <p><b>【商船学科】</b> インターンシップでは、海事系の職場で海上での仕事が実体験できるよう船会社への参加を積極的に推進し、将来の海上への進路決定の一助とした。さらに、海上で活躍している本校卒業生を招聘して在学生との意見交換会の場を設け、学生の将来設計に基づく学習意欲の向上に努めた。</p> <p><b>【機械システム工学科】</b> 卒業生の活躍分野を考慮し、学習・教育到達目標の設定を行った。また、キャリア教育の一環として、技術者（社会人）をお招きし、2年生、3年生対象の特別講演を行った。</p> <p><b>【一般教養科】</b> 学習・教育到達目標におけるカリキュラムの歴史と構成等を考慮して、点検・改定を行っている。 なお、本校に設置された6学科では、それぞれの特性に応じて、輩出する人材像が異なる。そこで、本教養科では、教育目標や教育内容、進度、難易度を考慮し、教育に工夫を凝らしている。</p>		
コ	カリキュラムに関わる教員への周知方法	<p><b>【教務委員会】</b> 教員会議、各委員会、並びに各学科において教員へ周知している。</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> J A B E E 認定の教育プログラムを含め、履修の手引きを配布するなど、カリキュラムの内容を教員に周知している。また、認定専攻科に関わる教育状況の調査時に合わせて、関係教員への説明会を実施した。</p> <p><b>【全専攻】</b> 履修の手引きを配布するなど、カリキュラムの内容を教員に周知している。また、認定専攻科に関わる教育状況の調査時に合わせて、関係教員への説明会を実施した。</p>		○	<p><b>【教務委員会】</b> 教員会議・各委員会・各学科において周知している。</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> 特例適用認定専攻科および JABEE 認定教育プログラムの概略を含め、履修の手引きを配布するなど、カリキュラムの内容を教員に周知している。</p>	
サ	学生への周知方法および周知時期(学年, 学期)	<p><b>【教務委員会】</b> 入学時のオリエンテーションで周知している。(1年生対象, 4月)</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> 専攻科入学時のガイダンスで専攻科のしおり, J A B E E 認定の教育プログラムの履修の手引き等を配布し周知している。</p> <p><b>【全専攻】</b> 専攻科入学時のガイダンスで専攻科のしおり, 授業の履修手引き等を配布し周知している。</p>	海事システム工学専攻, 国際ビジネス学専攻においても, 教育目標と授業科目の対応表を入学時ガイダンス等で説明する必要がある。(再掲)	○	<p><b>【教務委員会】</b> 入学時のオリエンテーションで周知している。(1年生対象, 4月)</p> <p><b>【専攻科委員会】</b> 専攻科入学時のガイダンスで専攻科のしおり, 特例適用認定専攻科および JABEE 認定の教育プログラムの履修の手引き等を配布し周知している。</p>	



	(2) 学内外への公開方法と公開時期	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 学習・教育到達目標をHP, 学生便覧に掲載。(新学科は平成22年4月から掲載)  【専攻科委員会】 JABEE認定教育プログラムを含め, 学習・教育到達目標を公開している。		○  ○	【教務委員会】 HP, 学生便覧に掲載。(新学科は平成22年4月から掲載)  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標をHP, 学生便覧で公開している。		
2	教育手段							
2-1	教育課程の設計	(1) カリキュラムの設計と開示	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 低学年に一般的科目を多く配置し, 高学年になるに従い専門科目を多く導入するくさび形の科目配置でのカリキュラム設計を行っている。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標を達成させるためのカリキュラム設計がされ, また修了要件等について, 学習時間を学生自身が確認できるように配慮されている。		○  ○	【教務委員会】 低学年に一般的科目を多く配置し, 高学年になるに従い専門科目を多く導入するくさび形の科目配置でのカリキュラム設計を行っている。  【専攻科委員会】 学習・教育到達目標を達成させるためのカリキュラム設計がされ, また修了要件等について学生自身が確認できるように配慮されている。	
		イ カリキュラムの教員および学生への開示方法		カリキュラムについては, HP及び学生便覧にカリキュラムを掲載している。また, 入学時にオリエンテーションで説明を行っている。 教員及び学生ともにHP等閲覧可能となっている。		○	HP及び学生便覧にカリキュラムを掲載している。また, 入学時にオリエンテーションで説明を行っている。	
		ウ 標準終了年限および教育内容の設定		設置基準に規定されている。		○	設置基準に規定されている	
		(2) 科目の授業計画書(シラバス)の作成・開示とそれに従った教育の実施	教務委員会 (専攻科委員会)					
		ア 各科目のシラバスの作成。シラバスには, カリキュラム中での位置付け, 教育内容・方法, 到達目標, 成績評価方法, 評価基準を明示		【教務委員会】 各科目について, カリキュラム中での位置付け, 教育内容・方法, 到達目標, 成績評価方法, 評価基準を明示したシラバスを作成している。 また, モデルコアカリキュラムを考慮し, 上記の項目にさらに「育成する社会人基礎力」, 「JABEE基準」などの項目を追加している。  【専攻科委員会】 各科目について, カリキュラム中での位置付け, 教育内容・方法, 到達目標, 成績評価方法, 評価基準を明示したシラバスを作成している。	海事システム工学専攻, 国際ビジネス学専攻においても, 教育目標と授業科目の対応表を入学時ガイダンス等で説明する必要がある。(再掲)	○  ○	【教務委員会】 モデルコアカリキュラムを考慮し, 従来の項目にさらに「育成する社会人基礎力」「単位の内訳」「JABEE基準」「科目の達成目標」項目を追加し, 両キャンパス共通のシラバスを作成している。  【専攻科委員会】 各科目について, カリキュラム中での位置付け, 教育内容・方法, 到達目標, 成績評価方法, 評価基準を明示したシラバスを作成している。また, 全専攻について教育目標と授業科目の対応表を入学時ガイダンス等で説明した。	
		イ 各科目における達成目標設定の際の社会の要請する水準の考慮方法		【教務委員会】 学生による授業評価アンケート結果, 外部識者からの意見等を考慮し, 達成目標を作成している。		○	【教務委員会】 学生による授業評価アンケート結果を十分検討し, 作成している。 前後期の2回, 学生による授業評価アンケートを実施している。アンケートの全体的な集計結果に基づき, FD委員会や教務委員会で授業改善に向けた意見交換を行い, 各個別データについては所属学科長を通じ教員へフィードバックし, 学科内で改善点について話し合いを行った。 6/30, 7/1に本郷・射水各キャンパスに中学校進路指導担当教員を招き, 本校の概要説明, 施設見学, 学生による現状報告の後, 本校への要望等について意見交換を行った。 また, 11/15に本郷キャンパスに富山市中学校長会役員を招き, 本校の概要説明, 施設見学, 学生による現状	

			【専攻科委員会】 シラバスは、学生による授業点検アンケート、科目別学習目標達成度調査の結果、外部識者からの意見等を十分検討した上で作成されている。		○	報告の後、オープンキャンパスの時期や高専の実情について中学校から要望があった。		
	ウ シラバスの開示方法		【教務委員会】 ホームページ上で公開している。また、学生には印刷したものを配付している。  【専攻科委員会】 ホームページ上で公開しており、各教員が学期開始時の授業で、印刷したものを配付している。		○  ○	【教務委員会】 Webにより公開している。また、学生には印刷したものを配付している。  【専攻科委員会】 ホームページ上で公開しており、各教員が学期開始時の授業で、印刷したものを配付している。		
	(3) 学生自身の達成度点検と学習への反映	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認し、学習へ反映している。  【専攻科委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認し、学習へ反映している。		○	【教務委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認している。  【専攻科委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認し、学習へ反映している。		
2-2	学習・教育の実施	(1) シラバスに従った教育の実施	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 シラバスの授業計画に基づき各授業を実施している。		○	【教務委員会】 シラバスの授業計画に基づき各授業を実施している。	
		(2) 自己学習時間を確保するための取り組み	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 各科目において、課題を課すなど自己学習を促すための対応をとっている。また、放課後の時間を確保できるような校時を設定している。		○	【教務委員会】 各科目において、課題を課すなど自己学習を促すための対応をとっている。また、放課後の時間を確保できるような校時を設定している。	
		(3) 学生の達成状況の継続的な点検	教務委員会 (専攻科委員会)	【教務委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認している。  【専攻科委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認している。		○  ○	【教務委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認している。  【専攻科委員会】 科目別学習目標達成度調査等で自分の学習達成度を確認している。	
2-3	教育組織	(1) 教員の数と能力および教育支援体制 ア 教員の数と能力	校長	・教員の人数については各学科の定員を満足するように配置している。 ・年度ごとに各教員に研究業績を提出してもらっている。		○	・教員の人数については各学科の定員を満足するように配置している。 ・年度ごとに各教員に研究業績を提出してもらっている。	
		イ 教育支援体制		・教員の支援として、校長裁量経費、研究助成等を選考することで支援している。		○	・教員の支援として、校長裁量経費、研究助成等を選考することで支援している。	
		(2) 科目間の連携・教育効果改善教員間連絡ネットワーク組織の存在と活動の実施 ア 教員間連絡ネットワークの存在	副校長 教務委員会	【副校長】 各キャンパスにおいて、定期的に校長と副校長、校長補佐、学科長との懇談会を実施している。また、教員会議、各種委員会、学科会議などを定期的に開催し、情報共有と意見交換を行っている。  【教務委員会】 学科会議・教務委員会等において、情報共有と意見交換を行っている。		○	【副校長】 各キャンパスにおいて、定期的に校長と副校長、校長補佐、学科長との懇談会を実施している。また、教員会議、各種委員会、学科会議などを定期的に開催し、情報共有と意見交換を行っている。  【教務委員会】 学科会議・教務委員会等において、連携・教育効果について検討を行っている。	

	イ 教員間連絡ネットワークの活動実績		<p>【副校長】 校長と両キャンパスの副校長、校長補佐との連絡会を定期的に開催した。両キャンパスの教員のコミュニケーションが図れるように、会議は両キャンパスで交互に開催した。さらに、テレビ会議を有効に活用して教員コミュニケーションをはかった。</p> <p>【教務委員会】 学科会議の中で「シラバス検討会」及び「カリキュラム検討会」等の時間を設け、各科目間の教育内容の相互理解や情報交換を行っている。</p>			○	<p>【副校長】 校長と両キャンパスの副校長、校長補佐との連絡会を定期的に開催した。両キャンパスの教員のコミュニケーションが図れるように、会議は両キャンパスで交互に開催した。さらに、テレビ会議を有効に活用して教員コミュニケーションをはかった。</p> <p>【教務委員会】 学科会議の中で「シラバス検討会」及び「カリキュラム検討会」等の時間を設け、各科目間の教育内容の相互理解や情報交換を行っている。</p>	
	(3) 教員の質的向上を図る仕組み(FD)の存在、開示、実施 ア FDの存在	FD委員会	FD委員会を設置し、FD活動についての企画・運営を行っている。				FD委員会を設置し、FD活動についての企画・運営を行っている。	
	イ FDの開示方法		FD研修会及び勉強会へ参加した報告書を学内教職員が閲覧できるよう、学内ネットワークに掲載した。				FD研修会及び勉強会へ参加した報告書を学内教職員が閲覧できるよう、学内ネットワークに掲載した。	
	ウ FDの実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教員や外部から招聘した講師により、FD研修会を4回実施した。</li> <li>・教員間の授業参観も実施し、評価シートに基づき授業改善等の検討を行った。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教員や外部から招聘した講師によるFD研修会を3回実施した。全教員対象1回、各キャンパスで実情に応じたテーマでそれぞれ1回開催した。</li> <li>・教員間の授業参観も実施し、評価シートに基づき授業改善等の検討を行った。</li> </ul>	
	(4) 教員の教育活動に関する評価方法の開示・実施 ア 教員の教育に関する貢献の評価方法	副校長	教員顕彰制度を実施した。教員の給与等にも教育業績等を加味した。			○	教員顕彰制度を実施した。教員の給与等にも教育業績等を加味した。	
	イ 教育貢献評価方法の開示状況		教育貢献評価方法の開示状況は、活動実績が有る場合にホームページなどに掲載を行っている。			○	教育貢献評価方法の開示状況は、活動実績が有る場合にホームページなどに掲載を行っている。	
	ウ 教育貢献評価の実績		平成23年度から続けている、教員の教育貢献について評価を行っている。教員表彰や教員の給与に評価内容を反映している。			○	平成23年度から続けて、教員の教育貢献について評価を行っている。教員表彰や教員の給与に評価内容を反映している。	
2-4	入学、学生受け入れ及び異動の方法	入試委員会						
	(1) 入学者選抜方法の開示とそれに基づく選抜の実施 ア 選抜の基本方針	入試委員会	推薦選抜基本方針については、2C入試委員会で審議決定している。			○	推薦選抜基本方針については、2C入試委員会で審議決定している。	
	イ 具体的選抜方法		推薦選抜基本方針のもとに、推薦選抜入試検討WGにおいて、選抜方法等の検討を行っている。			○	推薦選抜入試検討WGにおける選抜方法等の検討結果を基に2C入試委員会で審議決定している。	
	ウ 選抜方法の学内外への開示方法		平成26年度入学者選抜基準をホームページ上において公開するとともに、オープンキャンパスや学生募集説明会において、中学生や中学校教員に対して説明を行った。			○	入学者選抜方法の内容を学生募集要項に記載して公開するとともに、オープンキャンパス、中学校訪問、学生募集説明会等において、中学生や中学校教員に対して説明を行った。	
	(2) 編入学方法および編入基準の開示とそれに基づく選抜の実施 ア 選抜の基本方針	入試委員会	決定している。			○	決定している。	
	イ 具体的選抜方法		決定している。			○	決定している。	
	ウ 選抜方法および選抜基準の学内外への開示方法		7月に学生募集要項を公表し、HPに掲載した。			○	7月に学生募集要項を公表し、HPに掲載した。	

	(3) カリキュラム履修生の移籍	教務委員会	該当事項なし			該当事項なし	
2-5 教育環境・学生支援	(1) 教室、実験室、演習室、図書室、情報関連設備、自習・休憩設備および食堂等の整備	施設・設備整備委員会、安全衛生委員会	<p>【施設・設備整備委員会】</p> <p>学生にとって良い教育環境を維持するために、教室、実験室、演習室、図書室、情報関連設備等の学校施設の整備を継続的に実施している。本年度実施分は以下のとおりである。</p> <p>&lt;本郷キャンパス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻科西側の自転車小屋は、外灯の明かりが屋根に遮られて内部がとても暗く防犯上危険であり、隣接する駐車場に出入りする車と接触する可能性もあることから、それらを回避するため人感センサーの照明を複数台設置した。</li> <li>・共通棟3の教員室及び研究室では、エアコンが入らない時期に暑くて窓を開けると蚊等の虫が入ってくるため網戸を設置した。</li> <li>・実習工場の屋根は経年劣化によりさびが発生しており、このままでは雨漏りの原因となるため屋根塗装を実施した。</li> <li>・学生寄宿舎3号館の物干しが、老朽化で塗装剥離しさびているため補修を行った。</li> <li>・E棟、M棟、共通棟1の窓ガラスの断熱が不十分で空調効果が悪いいため、遮熱フィルムを貼付した。</li> <li>・実習工場で材料及び油類を貯蔵するため、工場外に貯蔵庫を設置した。</li> <li>・校舎正面の池周りの道路標識が劣化して見辛いこと、送迎する車がスピードを出すので危険なこと、並びに学生を迎えに来る車の駐車場所を指定するため、道路標識の新規設置・更新及び白線を引き駐車場の整備等を行った。</li> <li>・水銀灯の外灯をLEDの照明に更新し、消費電力を削減した。</li> <li>・平成27年度概算要求事業として、第1・第2体育館及び武道場の非構造部材耐震改修工事及びバスケットゴールの更新を行った。</li> </ul> <p>&lt;射水キャンパス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省では本年度中に全ての建物の耐震補強を終える方針のため、ボイラー棟の耐震補強工事を行った。・本年度7月開催の第1回施設・設備整備委員会(射水キャンパス)において、耐震性の劣った空き宿舎の職員宿舎取壊年次計画表が了承され、その計画に基づいて平成27年度から3年間で職員宿舎9戸を取り壊す予定にしている。また、屋内運動場非構造部材耐震対策事業として体育館のバスケットゴールの更新・登り綱の撤去及び武道館の照明器具の支持補強等の整備を行った。・学内営繕事業として、①第3寮棟1階補食室環境整備としてIHクッキングヒーターの設置のための電源工事を行った。②職員宿舎取壊年次計画に基づいて、17・18号棟の2棟3戸を取り壊した。③夜間の安全と省エネの両立のため管理棟2階廊下及び第2専門棟廊下の照明設備を人感センサーによる制御に整備した。また構内外灯設備を水銀灯ランプから省エネ及び取替寿命の長いLEDランプに交換した。④経年及び塩害による屋根の腐食等のため、合宿研修施設の屋根の葺き替えを行った。</li> </ul>			<p>【施設・設備整備委員会】</p> <p>学生にとって良い教育環境を維持するために、教室、実験室、演習室、図書室、情報関連設備等の学校施設の整備を継続的に実施している。本年度実施分は以下のとおりである。</p> <p>&lt;本郷キャンパス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通棟2・3階フロアの老朽化した空調機を更新した。</li> <li>・実習工場精密測定室の環境改善のため床の補修及び空調換気扇を設置した。</li> <li>・短期留学生受け入れのため、使用頻度の低い職員厚生施設2階を受け入れ施設として改修した。(2期計画の2期目)</li> <li>・校長裁量経費の事業として、敷地外周に植えられた樹木の越境枝の処理等を行い樹形を整え美観を向上させた。</li> </ul> <p>&lt;射水キャンパス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内営繕事業として、①職員宿舎取壊年次計画に基づいて、14・15・19号棟の3戸を取り壊した。②陸上競技場のインフィールドの凸凹整備③教室等15部屋の壁面塗替及び2部屋の掲示板の張替④図書館内に職員用男女別ロッカー室兼更衣室の設置、校長裁量経費の事業として第2体育館ステージ及び第1専門棟階段室の照明を省エネ及び取替寿命の長いLEDランプに交換した。</li> </ul>	○
	(2) 教育環境および学習支援に関して、授業等での学生の理解を助け、学生の勉学意欲を増進し、学生の要望にも配慮する仕組みの存在、その仕組みの開示、活動の実施	教務委員会 学生委員会 寮務委員会 学生相談室 進路指導室	<p>【教務委員会】</p> <p>学習支援に関して、低学年の成績不振者に対する補講として、数学のほかに物理も実施した。さらに、特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。授業評価アンケート、学生相談については、昨年度同様に実施した。</p> <p>【学生委員会】</p> <p>学生の勉学を支援するために、以下の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学支援－授業料免除制度や各種奨学金制度</li> <li>②福利厚生－福利厚生施設としての生協運営</li> <li>③その他学生支援－交通安全、消費者教育、各種講演会の実施、「リーダー研修会」の実施</li> </ul>			<p>【教務委員会】</p> <p>低学年の成績不振者に対する補講として、数学のほかに物理も実施した。さらに、特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。授業評価アンケート、学生相談については、昨年度との変更点なし</p> <p>【学生委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①就学支援－授業料免除制度や各種奨学金制度について学生委員会で承認。実施している。</li> <li>②福利厚生－キャンパス内に生協があり、生協社員、学生委員会、職員、学生会から構成される理事会で運営している</li> </ul>	○  ○
	ア 学生への支援体制の存在						

				<p>③その他学生支援—学生委員会において学生のための各種講演会を企画開催している。 ④全学生を対象にいじめアンケートを実施した。</p>
		<p><b>【学生相談室】</b> 学生の心の健康を支えるために、各キャンパスに学生相談室を設置し、学生の相談に対応できる体制を整えている。また、カウンセリング、あるいは治療が必要な場合には、精神科医と学校医の契約を行い、カウンセラーと連携しながら実施している。</p> <p><b>【進路指導室】</b> 各キャンパス進路指導室において、進路支援を実施。</p>		<p><b>【学生相談室】</b> 各キャンパスに学生相談室を設置し、また、カウンセリング、あるいは治療が必要な場合には、精神科医と学校医の契約を行い、カウンセラーと連携しながら実施した。</p> <p><b>【進路指導室】</b> 各キャンパス進路指導室において、進路支援を実施。</p>
イ 支援体制の教員、職員および学生に対する開示	<p>支援体制は教員、職員及び学生に公開している。</p> <p><b>【教務委員会】</b> 定期試験前に、低学年補講を実施した。 年間を通して特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。 開講科目に関する授業評価アンケートをサンプリング調査の形で年2回実施している。 学生相談室は年間を通じて対応している。</p> <p><b>【学生委員会】</b> ①就学支援—学務課、学生課での窓口対応のほかHPで就学支援のお知らせをしている。 ②福利厚生—各キャンパスの学生会から生協委員を選出し、生協理事会に参加している。 ③その他学生支援 ・学生の意見を聴取するために、各クラスの評議員からなる評議会を開催した。</p> <p><b>【学生相談室】</b> ①学生相談室について、HPでお知らせを実施、新一年生オリエンテーション時に学生相談室のパンフレットを配付、保護者あてには相談室の案内を郵送した。</p> <p><b>【進路指導室】</b> HPで企業向けに就職関係のお知らせ、学生へは、担任から進路についての各種お知らせを行っている。また、求人ネットシステムの利用について、保護者にも文書でお知らせした。</p>		<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>支援体制は教員、職員及び学生に公開している。</p> <p><b>【教務委員会】</b> 定期試験前に、低学年補講を実施した。 11月頃より特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。 開講科目に関する授業評価アンケートをサンプリング調査の形で年2回実施している。 学生相談室は年間を通じて対応している。</p> <p><b>【学生委員会】</b> ①就学支援—授業料免除制度や各種奨学金制度については、掲示板、HP、学生への説明会および保護者への通知を行っている。 ②福利厚生—生協に還元セール等の実施や、長期休暇中の実施時間、実施日の掲示、案内をしている。 ③その他学生支援 講習会は、掲示板および担任への周知を行い、実施後には、HPに掲載している。</p> <p><b>【学生相談室】</b> 学生相談室について、HPでお知らせを実施、新入生オリエンテーション時に学生相談室のパンフレットを配付、保護者あてには相談室の案内を郵送した。</p> <p><b>【進路指導室】</b> HPで企業向けに就職関係のお知らせ、学生へは、担任から進路についての各種お知らせを行っている。また、求人ネットシステムの利用について、保護者にも文書でお知らせした。</p>
ウ 支援体制の活動実施状況	<p><b>【教務委員会】</b> 定期試験前に、低学年補講を実施した。 年間を通して特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。 開講科目に関する授業評価アンケートをサンプリング調査の形で年2回実施している。 学生相談室は年間を通じて対応している。</p>		○	<p><b>【教務委員会】</b> 定期試験前に、低学年補講を実施した。 11月頃より特命フェローによる基礎電気等の補講を実施した。 開講科目に関する授業評価アンケートをサンプリング調査の形で年2回実施している。 学生相談室は年間を通じて対応している。</p>

		<p>【学生委員会】 ①就学支援-授業料免除の実施及び担任を通して、奨学金の募集など就学支援を行った。②福利厚生-生協において、食堂、売店運営等各種支援の他、学生会生協委員が中心となり還元セールを企画した。クラブ長会議において福利厚生に関する意見をとりまとめた。また、学生会合同研修において、合同球技大会、高専祭について意見交換を実施した。③その他学生支援・学生の意見を聴取するために、各クラスの評議員からなる評議会を開催し学生会が意見集約した。・各種学生生活に関する講演会を実施した。・学生がトラブルに巻き込まれやすい SNS 利用に対して、1年生を対象に講演会を実施し、注意喚起をした。併せて学生へ文書配布や(全体)集会でも注意喚起を行った。・外部講師を招いてネットモラル講習会を開催した。・地元の自治会の役員と懇談し、学生補導等に関して地域住民との情報交換を行った。・運動部を対象に熱中症防止のための講習会を開催した。</p> <p>【学生相談室】 各キャンパス相談室において、相談員による相談のほか、カウンセラーによる相談を週2回実施している。年2回のこころと体の健康調査を実施した。</p> <p>【進路指導室】 11月に企業研究会を開催し、技術振興会企業45社、両キャンパスから125名の学生参加があった。さらに射水キャンパスでは、4年生を対象に就職説明会、進学説明会を実施し約100名以上(5月、2月実施予定)が参加した。求人ネットシステムについて、昨年度に引き続き利用し、学生へ求人情報を公開した。</p>			○	<p>【学生委員会】 ①就学支援-授業料免除については、掲示板、HP および該当する学生への通知を行い、学生委員会で免除対象者を決定した。 ②福利厚生-生協において、食堂、売店運営等各種支援の他、学生会生協委員が中心となり還元セールを企画し実行した。 ③その他学生支援 ・学生委員会が中心となり、下記講習会を実施した。 ・性に関する講習会(1年生) ・交通安全講習会(4,5年,専攻科生) ・薬物に関する講習会(3年生) ・ネットモラル講習会(2年生) ・熱中症予防対策講座(全クラブ・同好会参加) 全学生を対象に、いじめアンケートを実施した。</p> <p>【学生相談室】 各キャンパス相談室において、相談員による相談のほか、カウンセラーによる相談を週2回実施した。年2回のこころと体の健康調査を実施した。</p> <p>【進路指導室】 1月14日(土)に企業研究会を開催し、技術振興会企業58社、両キャンパスから156名の学生参加があった。さらに射水キャンパスでは、4年生を対象に就職説明会、進学説明会を実施し約100名以上(5月、2月実施予定)が参加した。求人ネットシステムにより学生へ求人情報を公開した。</p>	
	(3) 施設、設備の整備・維持・運用に必要な財源確保への取り組み	予算委員会	【予算委員会】 施設等の維持管理のために、教育等施設基盤経費を充て施設等の健全な運用を行っている。			○	【予算委員会】 施設等の維持管理のために、教育等施設基盤経費を充て施設等の健全な運用を行っている。
3 学習・教育目標の達成	(1) 科目ごとの目標に対する達成度評価の実施	教務委員会(専攻科委員会)	<p>【教務委員会】 科目毎に、学習・教育目標をシラバスに掲載し、各担当教員が期末試験等で達成度の確認を行っている。</p> <p>【専攻科委員会】 科目毎に、シラバスに記載された達成度評価基準に従って評価している。</p>			○	<p>【教務委員会】 科目ごとに目標をシラバスに掲載し、各担当教員が期末試験等で達成度の確認を行っている。</p> <p>【専攻科委員会】 科目毎に、シラバスに記載された達成度評価基準に従って評価している。</p>
	(2) 他の高等教育機関で取得した単位および編入生等が編入前に取得した単位に関する評価方法・評価基準の作成とそれに基づく単位認定の実施	教務委員会(専攻科委員会)					
	ア 評価方法と評価基準の作成		学業に関する規則(第9条,10条)で定めている。			○	学業に関する規則(第9条,10条)で定めている。
	イ 評価方法と評価基準の運用		規則に基づき、教務委員会で審議し単位の認定を行っている。			○	規則に基づき、教務委員会で審議し単位の認定を行っている。
	(3) 学習・教育目標の各項目に対する達成度の総合的評価方法・評価基準の作成とそれに基づく評価の実施	教務委員会(専攻科委員会)					
	ア 学習・教育目標の各項目の達成度の評価方法と評価基準の設定		教科毎に、学科の学習・教育目標にもとづいた達成度と評価基準を設定され、シラバスに記載されている。			○	教科毎に学科の学習・教育目標にもとづいた達成度と評価基準を設定し、シラバスに記載している。

	イ	学習・教育目標の各項目の達成度評価方法と評価基準を設定した際に考慮した「社会の要請する水準」の具体的根拠		達成度評価方法と評価基準を設定した際に考慮したレベルは、モデルコアカリキュラムやその他の認証評価基準(JABEE 又は STCW 資質基準システム等), あるいは学協会の提言を参考にして設定したものである。「エコデザイン教育プログラム」は、昨年、一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)の継続認定審査を受審し、認定されている。		○	カリキュラムや学習目標は、モデルコアカリキュラムやその他の認証評価基準や学協会の提言を参考に検討されている。「エコデザイン教育プログラム」は、一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)の継続認定審査を受審し、認定された。	
	ウ	学習・教育目標の各項目の達成度評価方法と評価基準の運用実績		学生による授業点検アンケートの実施、シラバスおよび答案等資料の保管により適正な評価がなされていることを確認している。		○	学生による授業点検アンケートの実施、シラバスおよび答案等資料の保管により適正な評価が運用されていることを確認している。	
	(4)	修了生全員のすべての学習・教育目標の達成	専攻科委員会	修了生全員が自ら達成度自己点検表により達成度を点検し、これを特別研究指導教員、副専攻科長、学務課教務担当が点検し、専攻科委員会で審議、確認している。学生による授業評価アンケート等は、担当教員に開示されている。		○	【専攻科委員会】修了生全員が自ら達成度自己点検表により達成度を点検し、これを特別研究指導教員、副専攻科長、学務課・学生課教務担当が点検し、専攻科委員会で審議、確認している。学生による授業評価アンケート等は、担当教員に開示されている。	
4 教育改善	4-1 教育点検	(1) 学習・教育目標達成状況の評価結果に基づいて、基準に則してカリキュラムの教育活動を点検できる仕組みの存在とその開示・実施	教務委員会 学生委員会 寮務委員会 (専攻科委員会)					
	ア	教育点検システムの存在		【教務委員会】 教務委員会・FD委員会において、教育課程等の点検を実施している。  【専攻科委員会】 学生による授業評価アンケート、学生懇談会が実施されている。FD委員会に、教育改善専門部会を設置し、点検を行っている。		○  ○	【教務委員会】 教務委員会・FD委員会において、教育課程等の点検を実施している。  【専攻科委員会】 学生による授業評価アンケート、学生懇談会が実施されている。FD委員会に、教育改善専門部会を設置し、点検を行っている。	
	イ	教育点検システムの教員に対する開示		【教務委員会】 教員会議や学科会議等で点検内容等を報告・開示している。  【専攻科委員会】 学生による授業評価アンケート等は、担当教員に開示されている。		○  ○	【教務委員会】 教員会議や学科会議等で点検内容等を報告している。  【専攻科委員会】 学生による授業評価アンケート等は、担当教員に開示されている。	
	ウ	教育点検システムに関する活動の実施		【教務委員会】学生授業評価アンケート・教員相互によるピアレビューを実施し、授業等に関する改善を進めている。また、学生・教務上の制度の整備・検討を実施している。  【専攻科委員会】 自己点検評価委員会、同WGが活動を行っている。		○  ○	【教務委員会】 学生授業評価アンケートを実施し、授業等に関する改善を進めている。また、学生・教務上の制度の整備・検討を実施している。前後期の2回、学生による授業評価アンケートを実施している。アンケートの全体的な集計結果に基づき、FD委員会や教務委員会で授業改善に向けた意見交換を行い、各個別データについては所属学科長を通じ教員へフィードバックし、学科内で改善点について話し合いを行った。  【専攻科委員会】 自己点検評価委員会、同WGが活動を行っている。	
	(2)	カリキュラムの教育活動を点検する仕組みにおける社会の要求や学生の要望にも配慮する仕組みの存在と、カリキュラムの教育活動を点検する仕組み自体の機能も点検できる構成	教務委員会 (専攻科委員会)					

	ア 社会の要求や学生の要望に配慮する仕組みの存在		<p>【教務委員会】 学生による授業評価アンケートを実施している。また、本校在学学生からの意見を聞く学生懇談会も定期的実施している。この他、運営諮問会議において、外部の意見を聞いている。また、卒業生が就職している企業へのアンケートを実施し、本校卒業生がどのような能力に優れ、何が足りないのかを聞いている。以上の意見を参考に、カリキュラムの改善を実施している。</p> <p>【専攻科委員会】 本校の外部評価委員会として運営諮問会議がある。また、本校在学学生からの意見を聞く学生懇談会も定期的実施している。以上の意見を参考に、カリキュラムの改善を実施している。</p>		○	<p>【教務委員会】 学生による授業評価アンケートを実施している。また、本校在学学生からの意見を聞く学生懇談会も定期的実施している。</p> <p>【専攻科委員会】 本校の外部評価委員会として運営諮問会議がある。また、本校在学学生からの意見を聞く学生懇談会も定期的実施している。以上の意見を参考に、カリキュラムの改善を実施している。</p>	
	イ 点検システム自体を点検できる構成		<p>【自己点検評価委員会】 自己点検評価委員会および同WGは、教育活動を点検する仕組みが機能しているかどうかをチェックし、必要に応じて改善している。</p>		○	<p>【自己点検評価委員会】 自己点検評価委員会および同WGは、教育活動を点検する仕組みが機能しているかどうかをチェックし、必要に応じて改善している。</p>	
	(3) カリキュラムの教育活動を点検する仕組みを構成する会議や委員会等の記録の当該カリキュラム関係教員に対する閲覧手段の提供 ア 関係教員が記録を閲覧する方法	教務委員会(専攻科委員会)	<p>【教務委員会】 ・学内サーバーに議事要旨を掲載し、随時閲覧可能となっている。 ・教員会議や学科会議等で報告している</p> <p>【専攻科委員会】 ・運営審議会、教員会議、教員報告会、各種委員会で報告している。 ・グループウェアに議事録等を登録することにより、情報の共有化を図っている。</p>		○	<p>【教務委員会】 ・学内サーバーに議事要旨を掲載し、随時閲覧可能となっている。 ・教員会議や学科会議等で報告している。</p> <p>【専攻科委員会】 ・運営審議会、教員会議、教員報告会、各種委員会で報告している。 ・グループウェアに議事録等を登録することにより、情報の共有化を図っている</p>	
4-2 継続的改善	(1) 教育点検の結果に基づいて、基準の内容(分野別要件を含む)に則してカリキュラムを継続的に改善する仕組みの存在と、改善活動の実施 ア 改善システムの存在 イ 改善活動の実施状況	教務委員会(専攻科委員会) 自己点検評価委員会 FD委員会	<p>【自己点検評価委員会】 ・自己点検評価委員会において、PDCAサイクルの仕組みを明らかにし、サイクルにおける役割・分担を明確にした。</p> <p>【教務委員会】 教務委員会において、新教育課程を点検し、また学生からの要望を参考にして、カリキュラムの改定等を継続して実施している。</p> <p>【専攻科委員会】 学生との懇談会を定期的実施し、学生からの要望を取りまとめ、対応可能な事項について改善している。</p>		○	<p>【自己点検評価委員会】 ・自己点検評価委員会において、PDCAサイクルの仕組みを明らかにし、サイクルにおける役割・分担を明確にした。</p> <p>【教務委員会】 新教育課程を点検し、カリキュラムの改定等を行う。学級担任を通じて学生のニーズ把握に努めている。</p> <p>【専攻科委員会】 学生との懇談会を定期的実施し、学生からの要望を取りまとめ、対応可能な事項について改善している。</p>	
5 国際交流	(1) 国際的な学術交流活動の推進 ア 学生の交流活動状況及び指導体制	製品開発・社会貢献本部(ソリューションセンター、イノベーションセンター、国際交流センター) 教務委員会各学科・専攻科	<p>【製品開発・社会貢献本部】(国際交流センター) 学生の相互国際交流を積極的に推進している。本年度の実績は下記の通りである。2名の専攻科生がI S T Sに参加した。 シンガポール・テマセクポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れた。 シンガポール・ナンヤンポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れた。 タイ・キングモンクット工科大学ラカバンから12名の短期留学生を受け入れた。</p>	短期留学生受け入れについては、要望がある教育機関を中心に受け入れを進める必要がある。	○	<p>【製品開発・社会貢献本部】 本年度の実績は下記の通りである。(国際交流センター) ・2名の専攻科生がI S T Sに参加した。 ・シンガポール・テマセクポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れた。 ・シンガポール・ナンヤンポリテクニクから4名の短期留学生を受け入れた。 ・タイ・キングモンクット工科大学ラカバンから11名の短期留学生を受け入れた。</p>	



【教務委員会】

短期留学受入規則に基づき、交流を行う計画を進めている。

【電気制御システム工学科】

・4年生のモンゴルからの国費留学生の学生交流、教育指導および進路指導を行った。  
・タイからの短期留学生4名を受け入れ、研究指導を行った。  
・異文化実習プログラムに3年生が参加した。

【物質化学工学科】

3年生1名がKCCにおける英語圏異文化実習に参加した。5年生による国際学会での研究発表が7件あり、海外研究者との研究を通じた交流があった。

【電子情報工学科】

3年時編入学生1名を受け入れた。  
ナンヤンポリテクカレッジから、4名の留学生を受け入れ指導を行った。

【国際ビジネス学科】

今年度も多くの留学生を送り出し、またアジアからの短期留学生を受け入れた：・異文化実習プログラム(4週間)、長期留学プログラム(半年及び1年)を実施した。(異文化実習プログラム：中国4名、韓国はウイルス蔓延のため中止、ロシア3名、カナダ13名、提携校長期留学プログラム：カナダ1年留学4名、カナダ半年留学4名)・上記実施にあたり、事前指導、事後指導の充実を図り、引き続き数回に亘るガイダンスに加え、2月および7月に事前セミナーを実施し、長期留学後には、ライティングの指導を中心に9月および2月に実施した。・タイから4名、シンガポールから2名の留学生を学科として受入れ、学科教員が研究指導した。

【商船学科】

商船学科では今年度も昨年度に引き続きハワイ大学カウアイコミュニティカレッジへ国際インターンシップで学生(希望者)を派遣した。学生は語学のみならず、相手国の文化に直に触れるユニークなシステムにより国際人としてのセンスを身に付けて来た。

【一般教養科】

昨年度から引き続き、提携校であるハワイのカウアイコミュニティカレッジの英語圏異文化実習を2月～3月にかけて行い、工学系の3年生、8名が参加した。学生は3回の事前研修をして準備をした。また、現地の学生とともに授業を受け、ホームステイやボランティアなどを通して、国際的なセンスを磨いてきた。

【教務委員会】

短期留学受入規則に基づき、交流を行う計画を進めている。

本校(本郷C)実施の北陸地区高等専門学校留学生研修旅行に留学生、担当教職員が参加した。  
(北陸地区高専が持ち回りで主管)

【機械システム工学科】

3年生、4年生5年生に在籍中の留学生に対する教育指導および進路指導を行った。タイからの短期留学生を受け入れ、研究指導を行った。

【電気制御システム工学科】

・5年生のモンゴルからの国費留学生の学生交流、教育指導および進路指導を行った。  
・シンガポールからの短期留学生4名を受け入れ、研究指導を行った。

【物質化学工学科】

3年生4名がKCCにおける英語圏異文化実習に参加する予定である(2017年2月25日(土)～3月18日(土))。5年生による国際学会での研究発表が3件あり、海外研究者との研究を通じた交流があった。

【電子情報工学科】

シンガポール・タイから短期留学生を受け入れ各研究室で指導を行うとともに学生間で研究を通じた交流を行った。3年生2名がKCCにおける英語圏異文化実習に参加した。

【国際ビジネス学科】

今年度も多くの学生を送り出す一方で、アジアからの短期留学生を受け入れた。前者については、異文化実習プログラム(台湾・ロシア・韓国、各4週間弱)、長期留学プログラム(半年及び1年、いずれもカナダ)を実施した。参加者数は、異文化実習プログラム：台湾4名、韓国6名、ロシア4名、カナダ17名；提携校長期留学プログラム：カナダ1年留学12名、カナダ半年留学6名。さらに今年度は、富山県主催大連YKKジッパー社企業研修に2名が参加した(2週間)。上記実施にあたり、事前指導、事後指導の充実を図り、数回に亘るガイダンスに加え、2月および7月には事前語学セミナーを実施し、長期留学者には帰国後英文ライティング指導を実施した。

後者の留学生の受け入れについては、タイから4名、シンガポールから2名の留学生を学科として受入れ、学科教員が研究指導を行なった。

【商船学科】

商船学科国際インターンシップを前年度と同様に実施し、学生を派遣することができた。

【一般教養科】

昨年度から引き続き、提携校であるハワイのカウアイコミュニティカレッジの英語圏異文化実習を2月～3月にかけて行い、工学系の3年生、6名が参加する予定である。学生は3回の事前研修をして準備をする。また、現地の学生とともに授業を受け、ホームステイやボランティアなどを通して、国際的なセンスを磨く予定である。





			<p>【商船学科】 商船学科教員は上記ハワイ大学カウアイコミュニティカレッジとの協定における学生インターンシップの引率指導に教員を次々に派遣し、できるだけ多くの教員にこのプログラムの理解と経験をしてもらい全体力を傾注できるように努力している。学科教員をKCCに外地英語研修として派遣している。</p> <p>【一般教養科】 ・ハワイのカウアイコミュニティカレッジにおける「英語圏異文化実習(工学系プログラム)」の引率指導に教員を派遣した。 ・また、1名の教員はカウアイコミュニティカレッジの教員と共同研究を行っている。 ・国際会議発表件数が2件であった。</p>		○	<p>・「海外フィールドを活用する課題解決型グローバル教育プログラムの立ち上げに係る調査研究」に関する成果を上げることを目的とし、タイのキングモンクット工科大学を往訪した。その結果、夏季10日間程度の教育プログラムの企画について同大学から実施協力を得ることができた。(1名, 2016.9.12-9.16) ・ヤンゴン市(ミャンマー)のトゥリミンガラ中古車市場及びビエナ中古自動車部品市場中古車輸入販売業者、中古自動車部品輸入販売業者を複数訪ねるとともに、日本から進出した輸入中古自動車部品販売業者である、Roots社を訪ね、日本からの中古車及び中古自動車部品輸入の傾向とその流通状況について聞き取り調査を行った。また、ヤンゴン市の自動車整備士育成専門学校であるGlobal Career Schoolを訪ね、自動車整備業界の動向と整備工場で使用する中古部品・整備人材需要について聞き取り調査を行い、最新の知見を得た。(1名, 2016.11.02-07)</p> <p>【商船学科】 本学科の複数の教員が研究成果を国際会議で発表するなどの学術活動を行った。</p> <p>【一般教養科】 ・ハワイのカウアイコミュニティカレッジにおける「英語圏異文化実習(工学系プログラム)」の引率指導に教員を派遣する予定である。</p>	
6 社会との連携	(1) 地域自治体・企業との連携による教育・研究の高度化	<p>製品開発・社会貢献本部 (ソリューションセンター、イノベーションセンター、国際交流センター)</p> <p>【専攻科】 今年度は派遣した教員はいなかった。</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 地域企業の要請に基づき、企業人教育として、4件の技術セミナーを開講した。(ソリューションセンター)</p> <p>第13回、第14回グリーンイノベーション研究会を実施し、産学連携や海外研究機関との連携に関して情報提供するとともに、本校教員のシーズ紹介、研究成果報告等を行った。(イノベーションセンター)</p> <p>グリーンイノベーション研究会分科会として「2015年ECDIS教育勉強会」の開催を助成した。(イノベーションセンター)</p> <p>第3回製品開発セミナーを開催した。本校所有の設備を利用した製品開発事例の紹介を行った。企業からの技術相談の増加に繋がった。(ソリューションセンター)</p> <p>技術振興会寄附金より50万円を用いて、H27年度内に支出した論文掲載料の助成を行う予定である。H27年度内に希望者を募り、H28年度に助成者を決定する。(イノベーションセンター)</p> <p>研究高度化を目指した活動の一環として、英語プレゼンセミナーを開催する予定である。(イノベーションセンター)</p>	<p>【専攻科】 削除</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 地域企業の要請に基づき、企業人教育として、2件の技術セミナーを開講した。(ソリューションセンター)</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 第15回、第16回グリーンイノベーション研究会を実施し、本校の産学連携の現状に関する情報を提供するとともに、本校教員のシーズ紹介、研究成果報告等を行った。(イノベーションセンター) 当該の事業の計画がだされなかったため、本年度は開催しなかった。(イノベーションセンター) 第4回製品開発セミナーを開催した。本校製品開発事例の紹介を行ない、本校所有設備の見学会を行った。(ソリューションセンター)</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 技術振興会寄附金より支給された50万円を用いて、H27年度内に支出した論文掲載料の助成を行った。(イノベーションセンター) 本年度は当該の事業予算処置がなかったため、事業は開催しなかった。(イノベーションセンター)</p>	△	○ × ○ ○ ×	<p>開講件数増加のための対策が必要である。</p> <p>事業予算を勘案して開催の可否を検討する。</p> <p>事業予算を勘案して開催の可否を検討する。</p>	

<p>ア 地域社会との共同研究・共同開発事業の企画・実施</p>	<p>第5回小水力発電アイデアコンテストを(株)デンソーと南砺市の共催・後援で開催した。本校は主管校として準備、運営を行った。また、コンテストを通して、地域に自然エネルギーによる発電の啓発と普及に努めた。</p> <p>射水市の4つの小学校において、留学経験のある学生と留学生が、小学校の英語活動に参加し、学生の留学経験や留学生の母国紹介のプレゼンテーションを行った。(国際交流センター)</p> <p>射水教育委員会が主催する市内中学生のための土曜塾、夏休み補講の講師として学生の派遣に協力した。(学生主事室)</p> <p>企業等との共同研究、受託研究を推進し、特に技術振興会会員企業との共同研究には技術振興会予算に基づく助成を行った。件数は共同研究42件(うち技術振興会企業18件)、受託研究9件(うち技術振興会会員企業1件)であった。(イノベーションセンター)</p>	<p>東海北陸国立高専と(株)デンソーによる共催の第6回小水力発電アイデアコンテストに参加している。このコンテストを通して、学生の技術開発力を育成するとともに、地域に自然エネルギーによる発電の啓発と普及に努めている。</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 射水市の2つの小学校において、留学生と留学経験のある日本人学生が、小学校の外国語活動に参加し、留学生の母国紹介や学生の留学経験に関するプレゼンテーションをのべ4回行った。(国際交流センター)</p> <p>射水教育委員会が主催する市内中学生のための土曜塾、夏休み補講の講師として学生の派遣に協力した。(学生主事室)</p> <p>【製品開発・社会貢献本部】 企業等との共同研究、受託研究を推進し、特に技術振興会会員企業との共同研究には技術振興会予算に基づく助成を行った。件数は共同研究30件(うち技術振興会企業23件)、受託研究7件(うち技術振興会企業0件)であった。(イノベーションセンター) 共同研究件数を増やすことを目的に、助成制度の見直しを行った。(イノベーションセンター)</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>イ 地域社会との連携による本校教育の高度化のための企画・実施</p>	<p>主に地域の技術者をシニアフェローとして任命し、講義・実習等に活用した。本年度のシニアフェローは31名であった。(イノベーションセンター)</p>	<p>【製品開発・社会貢献本部】 主に地域の技術者をシニアフェローとして任命し、講義・実習等に活用した。(イノベーションセンター)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>エ 地域社会との連携事業に関する広報</p>	<p>本校での取り組みについて、HPを活用して積極的にPRした。また、技術振興会会員企業やシニアフェローを対象に、メールリストによる情報提供を継続して実施した。(イノベーションセンター)</p> <p>【志願者対策室】 本校近隣の小中学校等を対象に、他の教育機関との連携組織基盤づくりの一環として、年間を通して出前授業を、夏休み期間には中学生を対象とした公開講座を、それぞれ対象者のニーズを捉えた29講座を開講し、1,473名の参加があった。多くの講座で募集定員を上回る申込みがあり、全体として定員を10%以上上回る受講者を受け入れて実施した。受講後の参加者アンケートでも内容について高い満足度となった。</p>	<p>【製品開発・社会貢献本部】 地域社会との連携のため、年2回開催しているグリーンイノベーション研究会を開催、中小企業のものづくりやグリーン経営に関する情報を提供した。(イノベーションセンター) また、企業研究会や企業見学会を開催した。(イノベーションセンター)</p> <p>【製品開発・社会貢献本部(ソリューションセンター)・志願者対策室】 本校近隣の小中学校等を対象に、他の教育機関との連携組織基盤づくりの一環として、年間を通して出前授業を、夏休み期間には中学生を対象とした公開講座を、それぞれ対象者のニーズを捉えた37講座を開講し、1,344名の参加があった。多くの講座で募集定員を上回る申込みがあり、全体として定員を上回る受講者を受け入れて実施した。受講後の参加者アンケートでも内容について高い満足度となった。</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p>